

教育委員会提出議案

第 30 号議案

豊島区文化財の登録について

上記の議案を提出する。

令和 4 年 9 月 2 7 日

豊島区教育委員会教育長 金子 智雄

豊島区文化財の登録について

豊島区文化財の登録について、次のとおり決定する。

1. 根拠法令

豊島区文化財保護条例第 23 条第 1 項第 3 号による

2. 審議事項

(1) 豊島区文化財の登録

①有形文化財（建造物）

名 称 婦人之友社社屋

所 在 地 豊島区西池袋 2-20-16

所 有 者 株式会社婦人之友社

3. 登録の理由

別紙「答申書（写）」の通り

(説 明)

豊島区文化財保護条例第 23 条第 1 項第 3 号の規定により、豊島区文化財保護審議会に、文化財の登録について諮問したところ、別紙のような答申を得た。

よって豊島区文化財保護条例第 7 条の規定により文化財を登録するため、本案を提出する。

答 申 書

写

豊島区文化財保護審議会

令和4年9月5日

豊島区教育委員会 様

豊島区文化財保護審議会
会 長 佐々木 隆爾



豊島区文化財の登録について（答申）

令和3年3月9日付、3豊教庶発第2738号をもって諮問がありました、豊島区文化財の登録について、豊島区文化財保護審議会において、令和4年3月17日と同年9月5日の2回にわたり審議を行った結果、下記の通り意見が一致したので答申します。

記

1. 登録件名

(1) 有形文化財（建造物）

名 称	婦人之友社社屋	1棟
所在地	豊島区西池袋2-20-16	
所有者	株式会社 婦人之友社	

上記について、豊島区有形文化財として登録することに異議ありません。

有形文化財

1. 名称 婦人之友社社屋
2. 員数 1棟
3. 登録種別 豊島区登録有形文化財（建造物）
4. 所在地 豊島区西池袋2-20-16
5. 所有者 株式会社婦人之友社 豊島区西池袋2-20-16
6. 登録基準 豊島区文化財登録基準 第1 豊島区登録文化財 1 豊島区登録有形文化財（1）建造物「ア 区の歴史又は地域的特色において重要なもの」、「イ 意匠的又は技術的に優れているもの」および「ウ 歴史的又は学術的に価値があるもの」に該当する。
7. 登録理由 本建物を所有する婦人之友社は、隣接する自由学園明日館を創設し、その校舎の設計をフランク・ロイド・ライトに依頼した羽仁吉一・もと子が、明治36（1903）年に創業した出版社で、この社屋は、昭和38（1963）年に創業60年を記念して建てられた。大明建設が施工し、構造は鉄筋コンクリート造、地上3階、地下1階、陸屋根の建物で、現在も社屋として使用されている。

設計を担当した遠藤楽（1927-2003）はライトの弟子、遠藤新の長男で、昭和24（1949）年に遠藤新建築創作所に入社。昭和32（1957）年に渡米し、アメリカで直接ライトの指導を受けている。作品として、自由学園羽仁両先生記念図書館（昭和41（1966）年築、東久留米市）・六十周年記念講堂（昭和56（1981）年築、東久留米市）や滝野川教会（平成3（1991）年築、北区）などがあり、個人住宅・店舗建築なども多い。

本建物の設計に当たって遠藤は、『自由学園』、『婦人之友』、そして『友の会』とこの三つとも創始者を同じくするいわば兄弟の関係にある団体である。現在はそれぞれ、独立しているため敷地には一線を画していながらもやはり、兄弟の関係は変わりなく続いている。だからこの建物は事実切り離されながらも、つながりを持たねばならないというむずかしい条件を課せられたのである。』（『建築』1963）と述べており、本建物は、自由学園明日館講堂（昭和9（1934）年築）と、友の会友の家（昭和37（1962）年築、平成19（2007）年解体）と一体的にデザインされたことが伺われる。

外部は、腰壁と植栽周りには大谷石を使用し、建物全体は上層に行くに従い、少しずつ広がるデザインになっている。階段を囲む壁面の小窓に嵌め込まれているステンドグラスは、友の家の屋上に設置されていた手摺り（現在は明日館の南側フェンスとして再利用）と似たモチーフで、直交する直線を重ねたデザインで作られている。

内部は、必要なスペースが仕事の内容に応じて各階に纏められ、1階に事務室・社長室・応接室、2階に編集室、3階に会議室が配置されて

おり、一般的な廊下で諸室をつなげるような事務所建築とは異なった部屋の配置となっている。

主な改修履歴は、外部のデザインに関わる部分では、昭和46（1971）年に倉庫の増築を行っているほか、昭和62（1987）年に北側と東側の大谷石の石積みを改修している。また、平成7（1995）年に発送室東側のガラス戸が事故により損壊したため改修し、当初とは異なるタイプの建具が入れられている。内部については、昭和60（1985）年に2階・3階の煙突を囲む煉瓦を断熱材で覆う工事が行われている。また、平成12（2000）年に階段室に手摺りを設置し、平成19（2007）年に1階玄関にスロープを設置するなどバリアフリー化が進められ、平成26（2014）年には1階事務室の床をOA対応に改修している。しかし、応接室の照明、ロッカーや作り付けの棚、サッシ、洗面所・現像室の水回りのタイルなどは当初のものが残されている。

建物本体に加えて、当初の設計図面・施工図面や詳細な施工記録の写真、設計図面に基づいて作成された模型も残されており、設計過程の解明にもつながるものと考えられる。

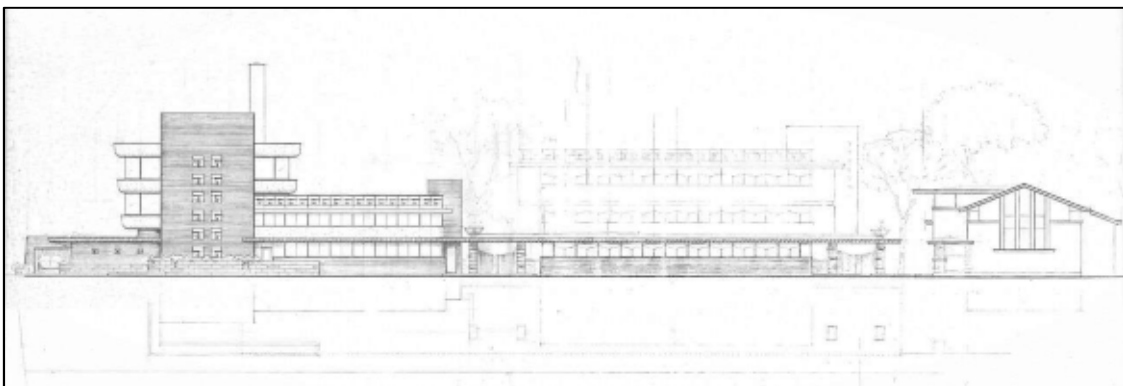
婦人之友社社屋は、戦後の建築であるが、隣接する自由学園明日館を設計したライトの系譜を引く設計者によるものであり、平面構成や意匠にライトの思想・手法が継承されている建物である。また、親子で世界的建築家と師弟関係にあった設計者の建物と、師の手による建物とが隣接しており、これら一群の建物を保存する意義は大きい。加えて、今後、公開施設として活用される予定もあると聞く。これらのことから、婦人之友社社屋を、保存・活用すべき豊島区の文化財として登録することが適当である。

8. 参考文献

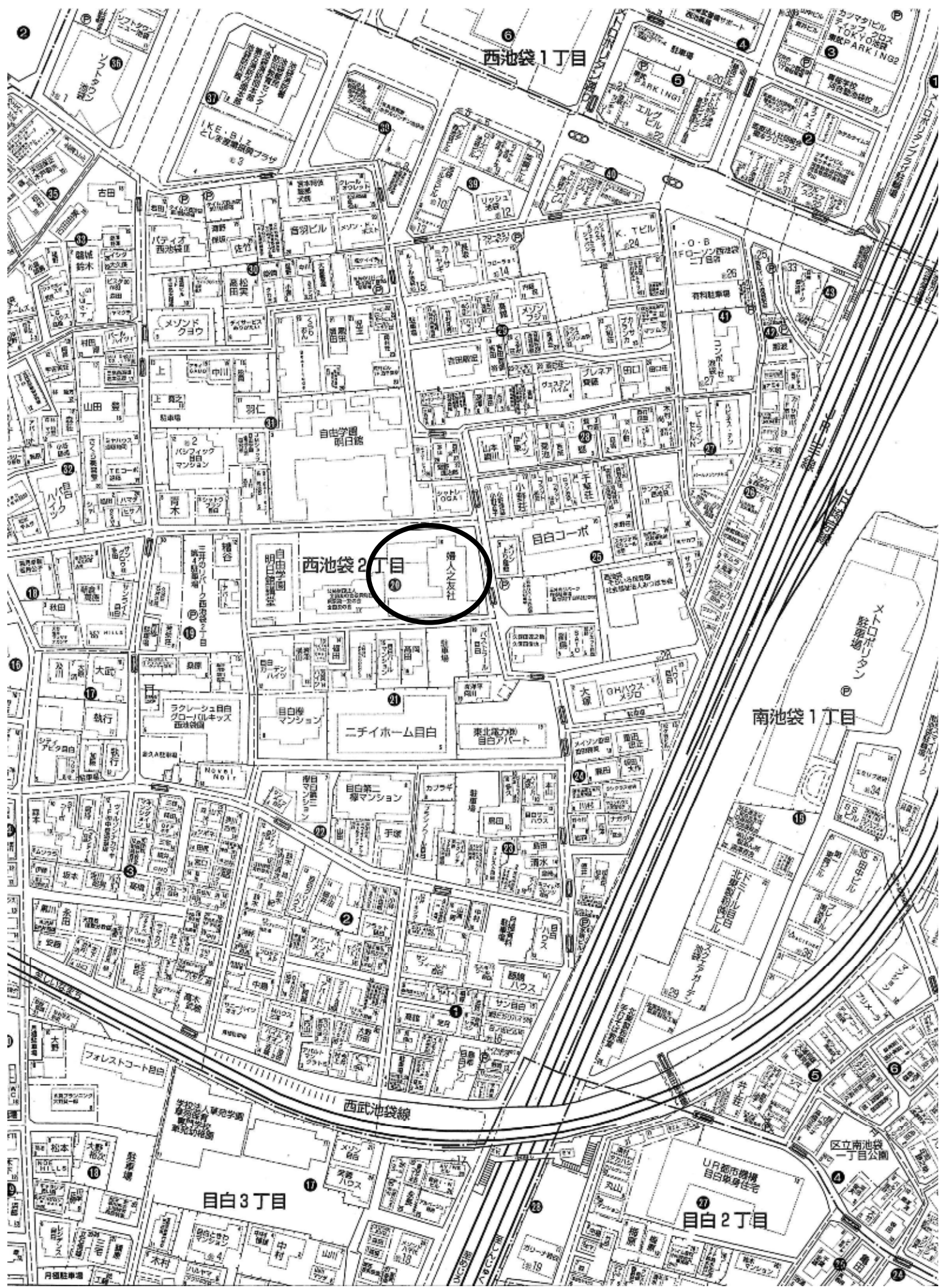
遠藤楽「婦人之友社」『建築』（1963）青銅社

遠藤楽「設計者のことば」『婦人之友』（1963）婦人之友社

遠藤楽作品集編集委員会『楽しく建てる－建築家遠藤楽作品集－』（2007）丸善株式会社



（遠藤楽作品集編集委員会『楽しく建てる－建築家遠藤楽作品集－』）



西池袋1丁目

西池袋2丁目

南池袋1丁目

目白3丁目

目白2丁目

西武池袋線

区立南池袋一丁目公園

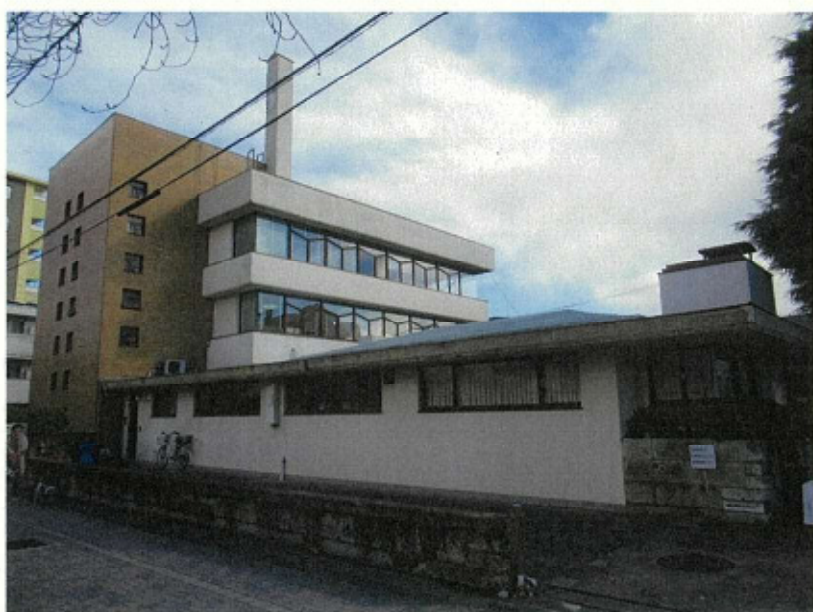
UJ都市機構
目白单身住宅



社屋外観① 北東側



社屋外観② 南東側（車庫）



社屋外観③ 北西側



社屋外観④ 南側



社屋外観⑤ 南西側



社屋外観⑥ 玄関



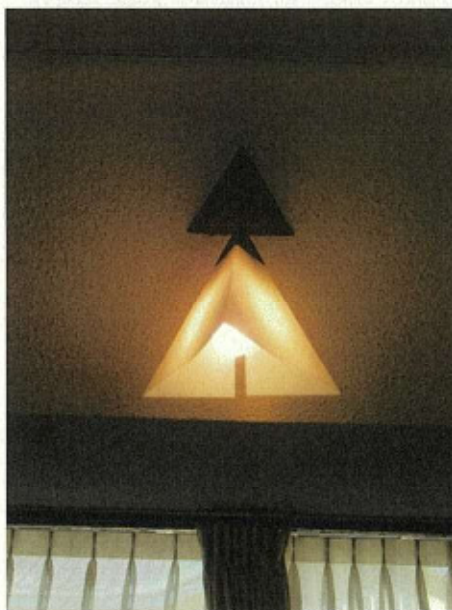
社屋内部① 小応接室



社屋内部② 会議室



小応接室 照明



会議室 照明



社屋内部③ 玄関ホール



社屋内部④ 発送室



社屋内部⑤ 倉庫 (旧車庫)



社屋内部⑥ 階段室



社屋内部⑦ 階段室ステンドグラス



社屋内部⑧ 3階会議室 柱



社屋内部⑨ 3階会議室 窓サッシ

備考

凡例

既存RC躯体 t=120~250

既存CB壁

既存木造壁

新設スリット

新設RC躯体 t=150~200

新設CB壁

新設木造壁

新設耐震壁 t=120~200

既存耐震鉄骨壁

新設乾式壁

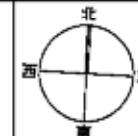
新設軽量鉄骨壁

既存梁(真上げ/RC躯体)

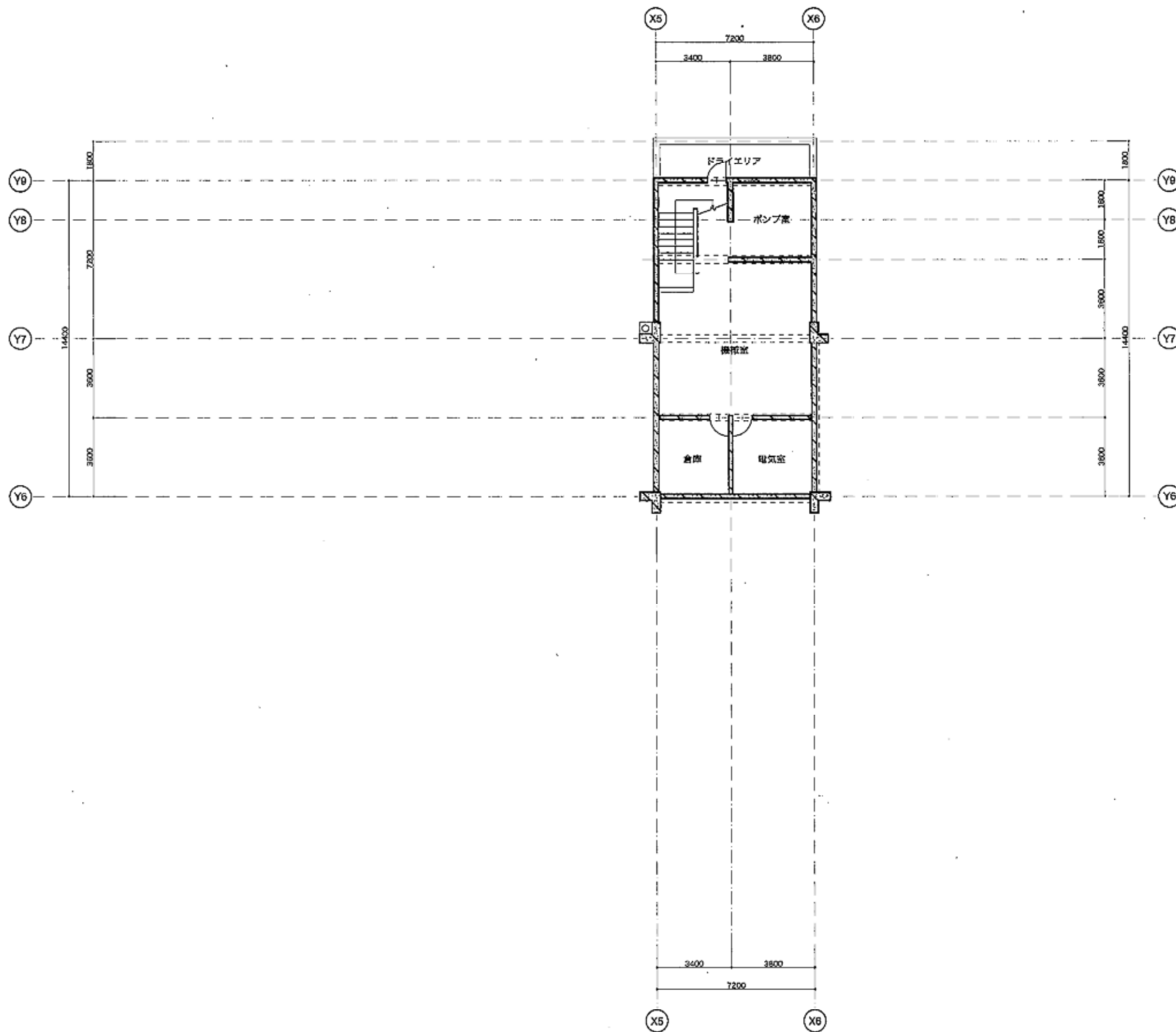
縮尺

方位

A1 1:100
A3 1:200



既存地下1階平面図



地下1階平面図 1/200

備考

既存地下1階平面図

縮尺
A1 1:100
A3 1:200

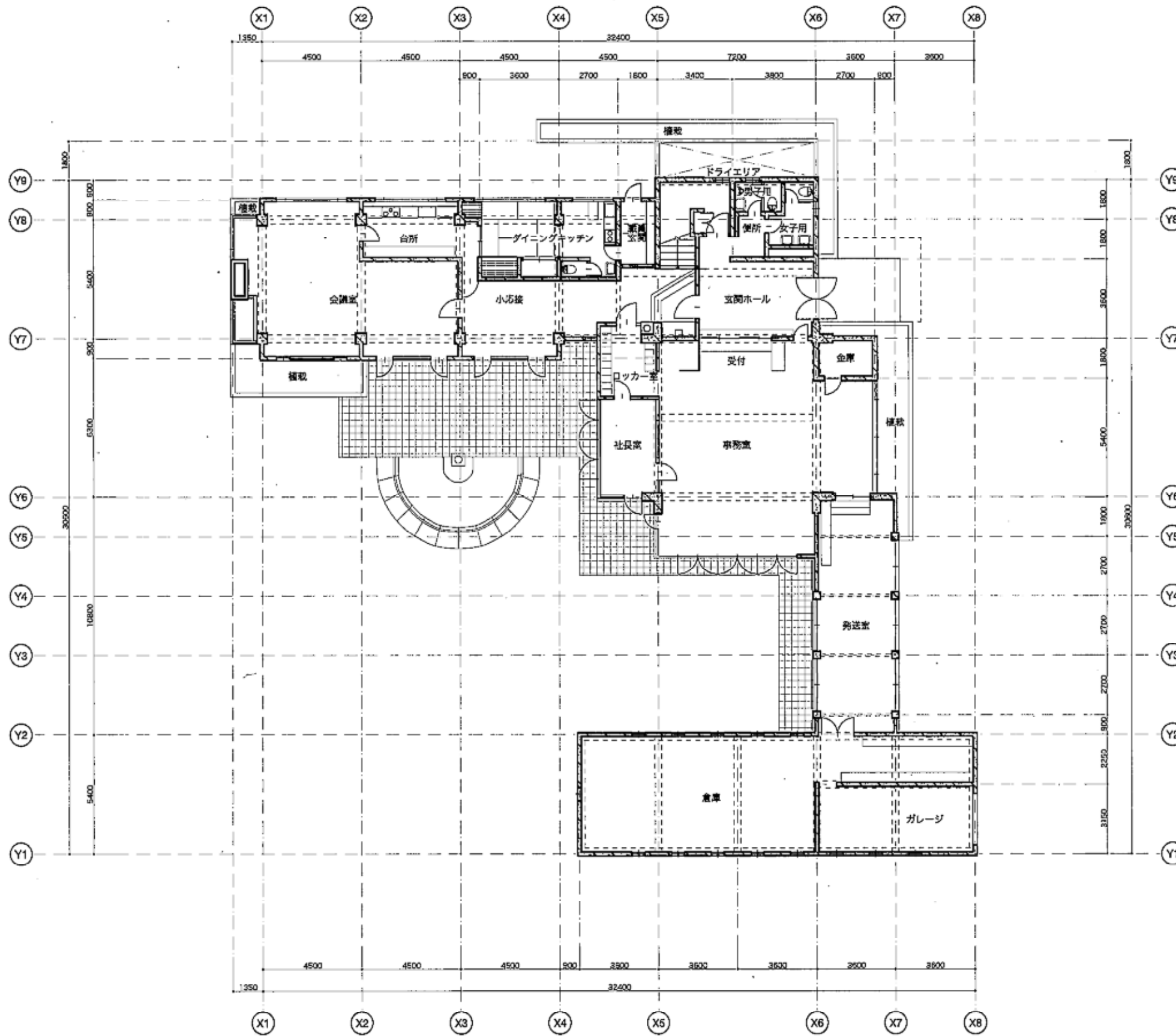
備考

- F.別 既存CB壁
- 既存木造壁
- 既存RC躯体 t=120~250
- 新設CB壁
- 新設木造壁
- 新設RC躯体 t=150~200
- 既存軽鋼骨壁
- 新設乾式壁
- 新設耐震壁 t=120~200
- 新設軽鋼骨壁
- 既存梁(見上げ/RC躯体)

▽ 耐震スリット

縮尺		方位	
A1	1:100		
A3	1:200		

既存1階平面図



備考

既存1階平面図

NO	-
A1	1:100
A3	1:200

備考

凡例

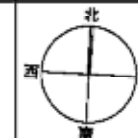
- 既存RC躯体 t=120~250
- 新規RC躯体 t=150~200
- 新規耐震壁 t=120~200
- 既存CB壁
- 新規CB壁
- 既存軽量鉄骨壁
- 新規軽量鉄骨壁
- 既存木造壁
- 新規木造壁
- 新規乾式壁
- 既存梁(真上付/RC躯体)

▽ 耐震スリット

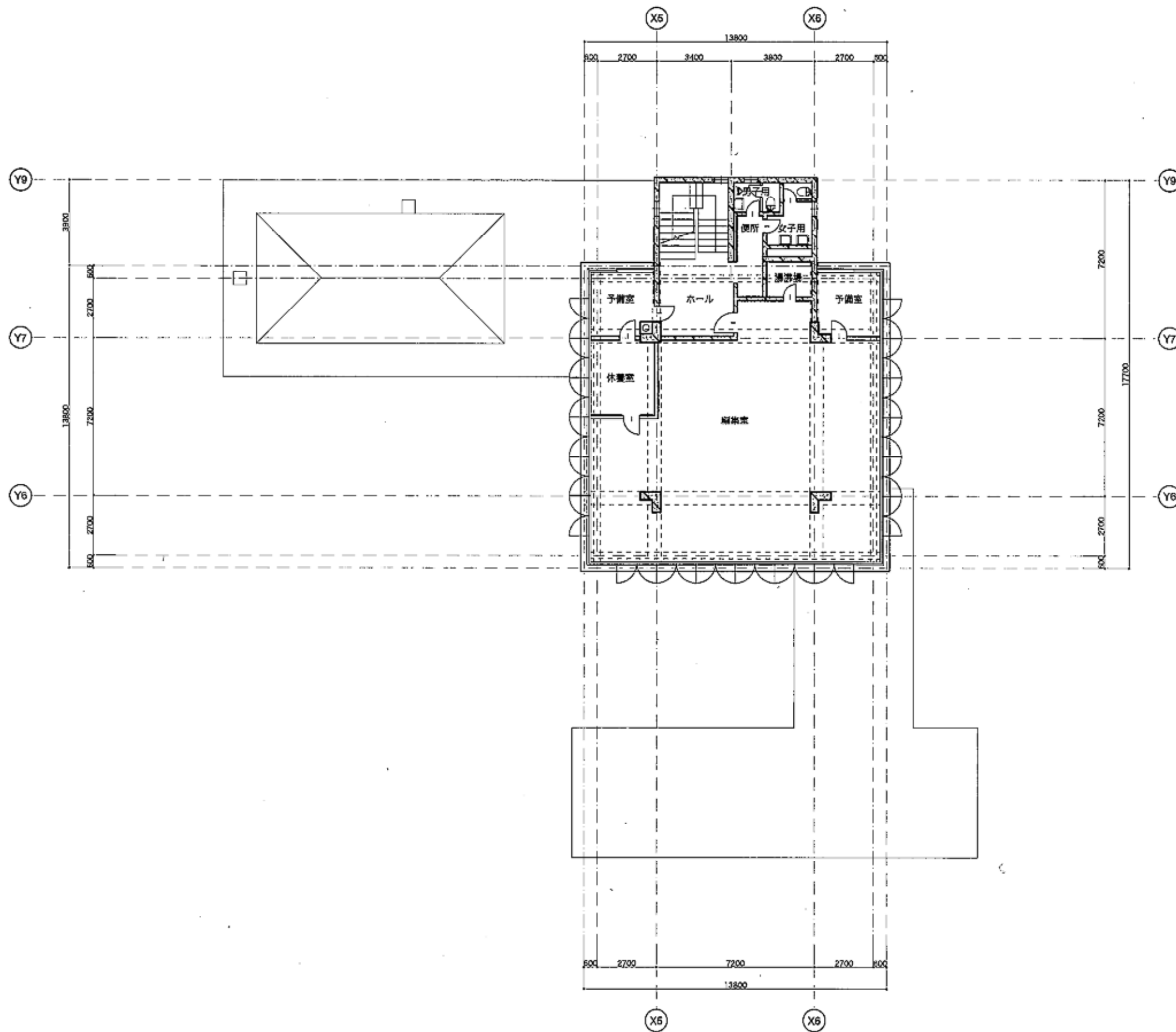
縮尺

A1 1:100
A3 1:200

方位



既存2階平面図



2階平面図 1/200

備考

NO	内容	NO	内容	NO	内容	NO	内容	NO	内容	NO	内容

既存2階平面図

10
A1 1:100
A3 1:200

備考

凡例

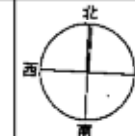
- 既存RC躯体 t=120~250
- 新規RC躯体 t=150~200
- 新規耐震壁 t=120~200
- 既存CB壁
- 新規CB壁
- 既存軽量鉄骨壁
- 新規軽量鉄骨壁
- 既存木造壁
- 新規木造壁
- 新規乾式壁
- 既存梁(黒上げ/RC躯体)

▽ 耐震スリット

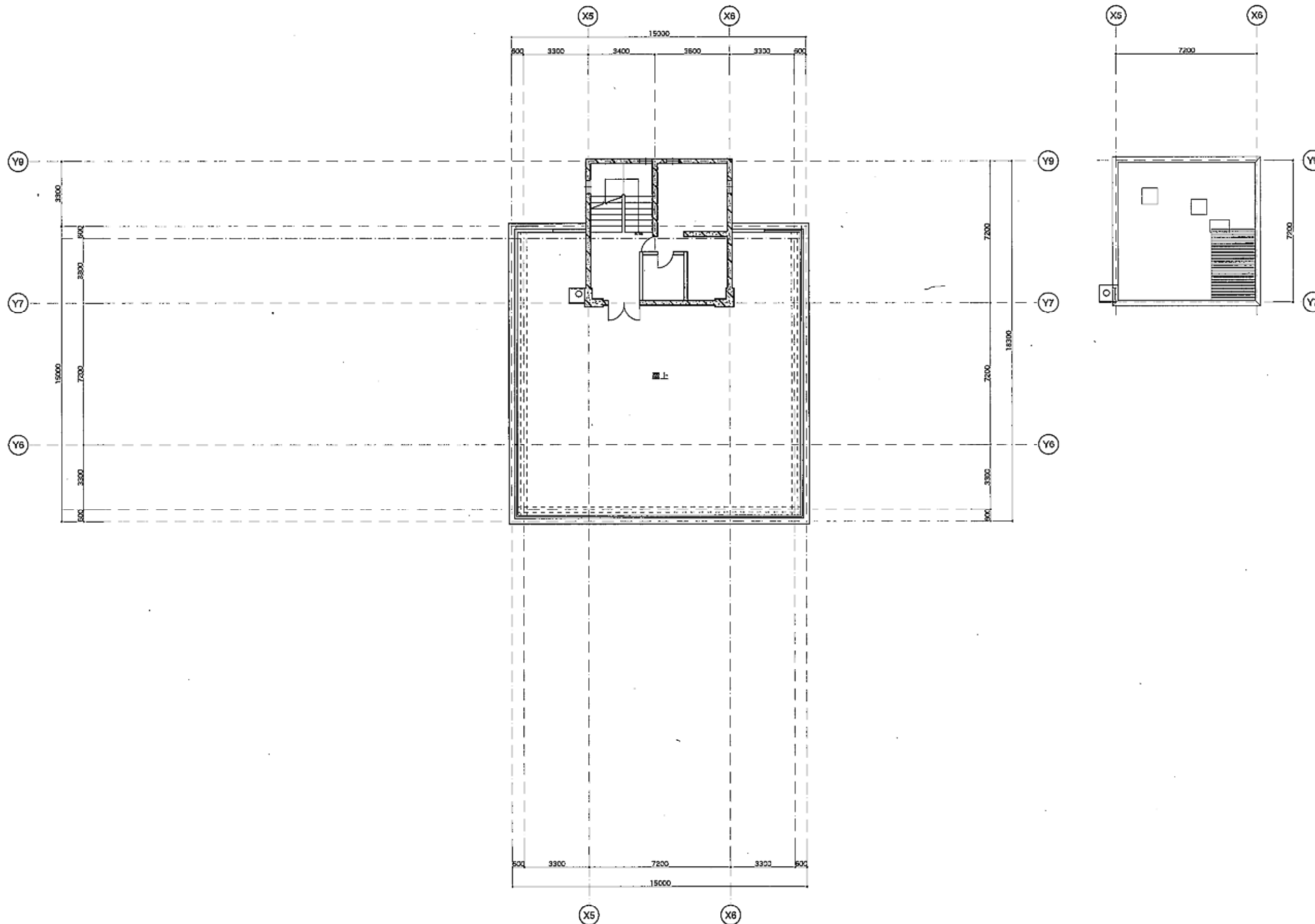
縮尺

A1 1:100
A3 1:200

方位



既存屋上階・塔屋階平面図

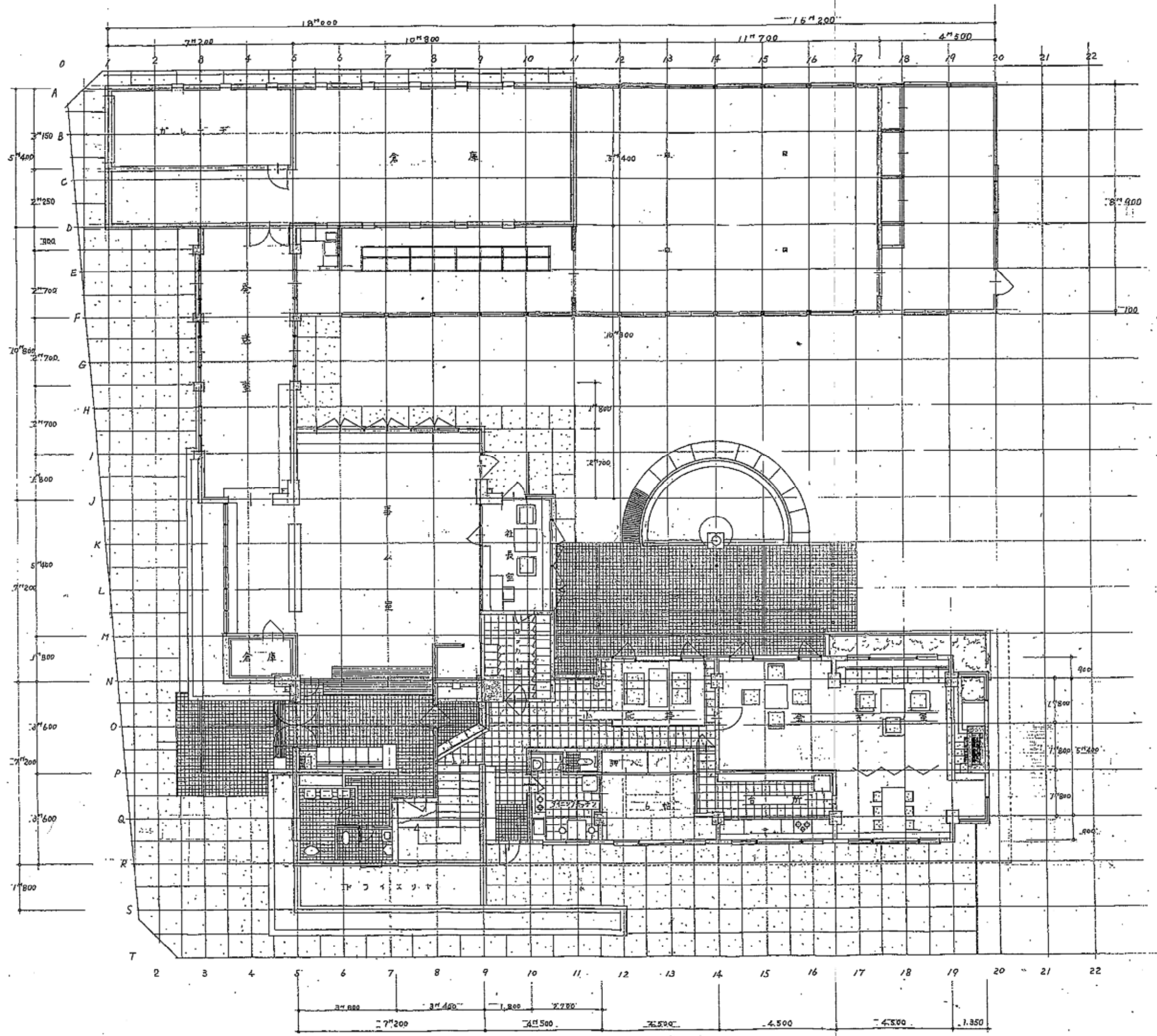


屋上階平面図 1/200

備考

既存屋上階・塔屋階平面図

KI
A1 1:100
A3 1:200



備考

凡例

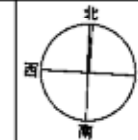
- 既存RC躯体 t=120~250
- 新構RC躯体 t=150~200
- 新構耐震壁 t=120~200
- 既存CB壁
- 新構CB壁
- 既存軽集積骨壁
- 新構軽集積骨壁
- 既存水遣壁
- 新構木遣壁
- 新構乾式壁
- 既存梁(真上げ/RC躯体)

▽ 耐震スリット

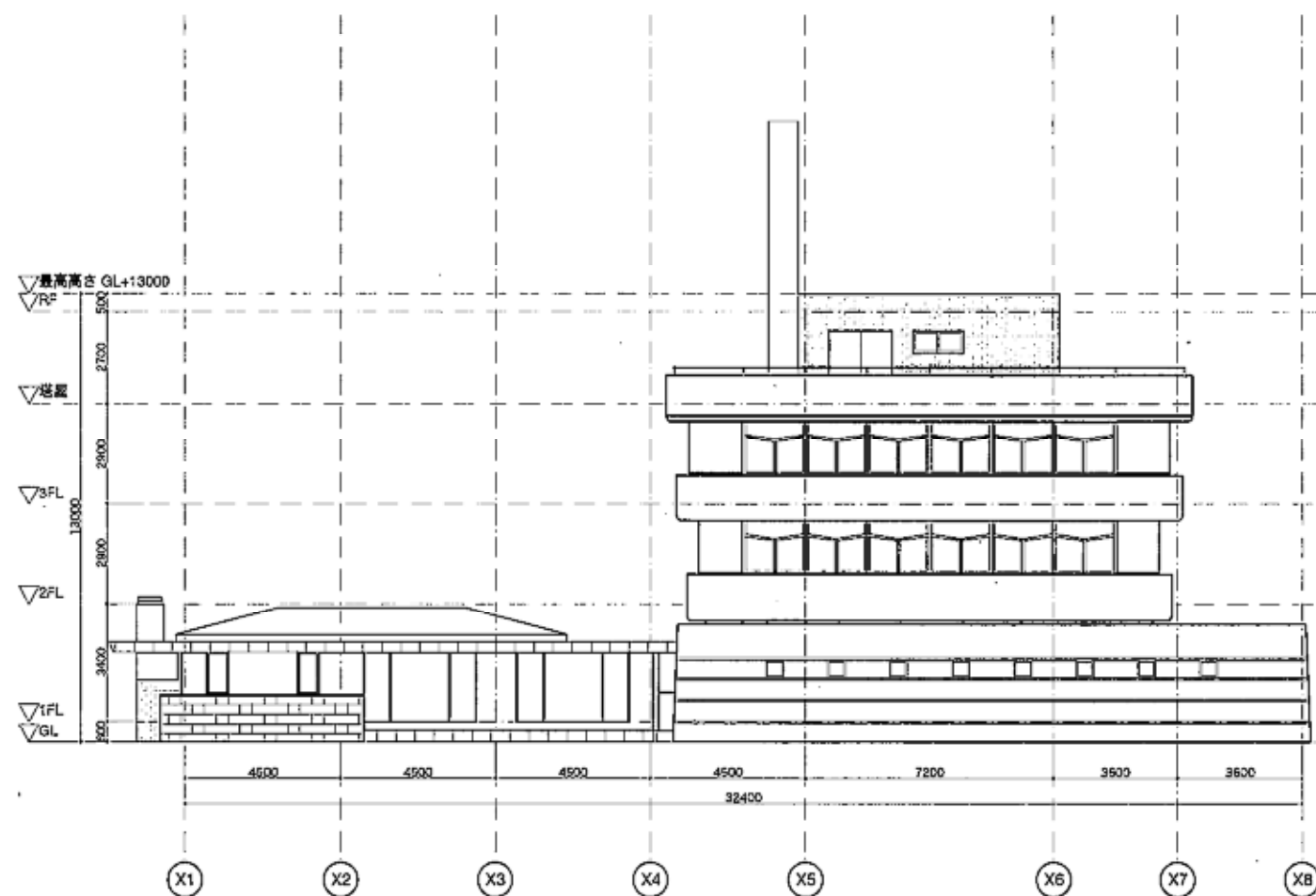
縮尺

A1 1:100
A3 1:200

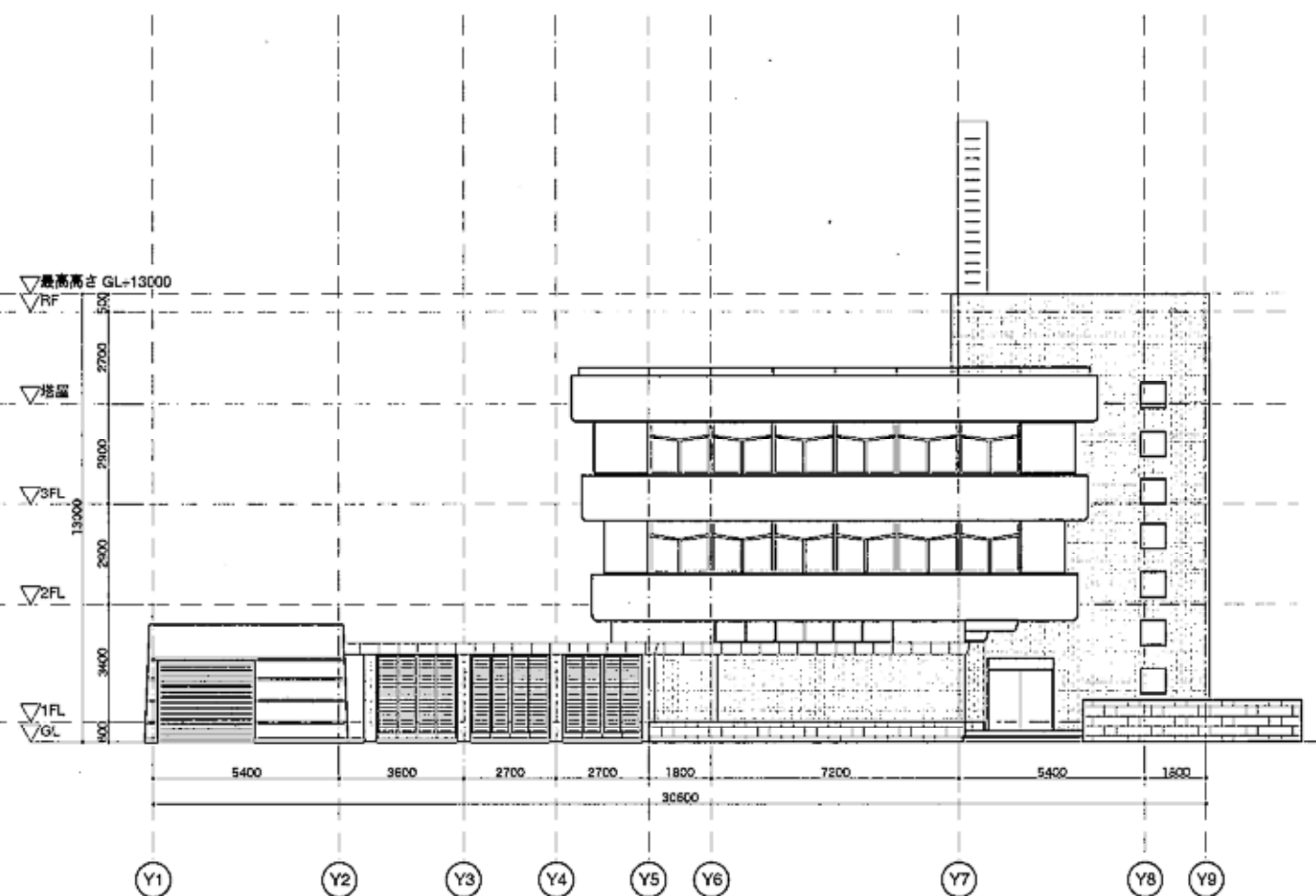
方位



既存
立面図-1



南側立面図 1:200



東側立面図 1:200

備考

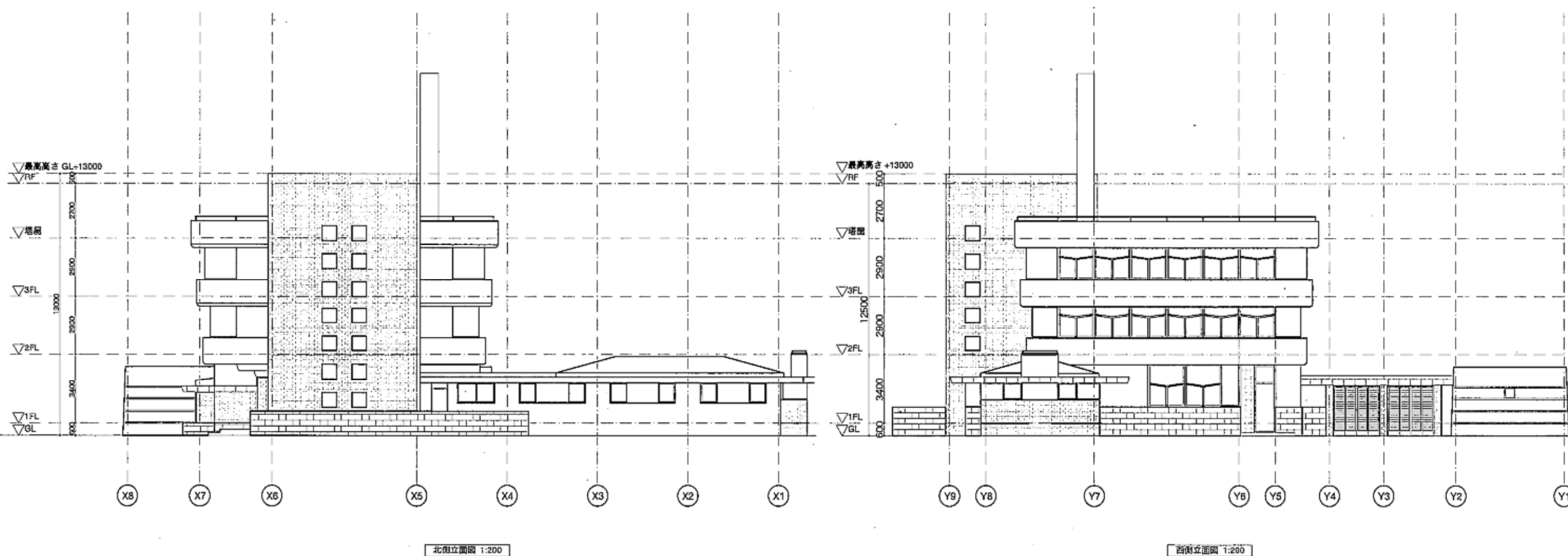
	A 1	A 2	A 3	A 4	A 5	A 6	A 7	A 8	A 9	A 10	A 11	A 12	A 13	A 14	A 15	A 16	A 17	A 18	A 19	A 20	A 21	A 22	A 23	A 24	A 25	A 26	A 27	A 28	A 29	A 30	A 31	A 32	A 33	A 34	A 35	A 36	A 37	A 38	A 39	A 40	A 41	A 42	A 43	A 44	A 45	A 46	A 47	A 48	A 49	A 50	A 51	A 52	A 53	A 54	A 55	A 56	A 57	A 58	A 59	A 60	A 61	A 62	A 63	A 64	A 65	A 66	A 67	A 68	A 69	A 70	A 71	A 72	A 73	A 74	A 75	A 76	A 77	A 78	A 79	A 80	A 81	A 82	A 83	A 84	A 85	A 86	A 87	A 88	A 89	A 90	A 91	A 92	A 93	A 94	A 95	A 96	A 97	A 98	A 99	A 100
--	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------

既存立面図-1

215
A1 1:100
A3 1:200

備考	凡例	既存CB壁	既存木造壁	耐震スリット
	既存RC躯体 t=120~250	新規CB壁	新規木造壁	
	新規RC躯体 t=150~200	既存軽量鉄骨壁	新規乾式壁	
	新規耐震壁 t=120~200	新規軽量鉄骨壁	既存梁(具上げ/RC躯体)	

縮尺	方位		既存 立面図-2
A1 1:100			
A3 1:200			



備考	KL	215
	A1	1:100
	A3	1:200

既存立面図-2